



## <能美市の環境>

過疎地域ではないが、**地域交通の減少**や**少子高齢化**が進み、特に中山間地域では高齢化率が高く、高齢者だけの世帯や単身世帯が増加している。自家用車がない高齢者等にとって**医療機関までの移動の不便さ**が課題。

## <能美市が目指す姿>

市民ひとりひとりの生活に寄り添い、暮らし方の選択肢を増やす観点から、**市民のコミュニティーハブ**である**公民館においてオンライン診療の機能**を具備したい(能美スマートインクルーシブシティ)。

## <公民館を活用したオンライン診療>(オンライン診療は、石川県のみならず全国の少子高齢化や過疎が進む地域の課題解決にも資する)

**地域のかかりつけ医によるオンライン診療**は、**対面診療を補完**。徒歩圏内で、地域住民が集まることができる公民館であれば、移動手段の確保に課題を抱える地域の住民はもちろんのこと、デジタル機器の操作に不慣れた高齢者や、仕事・子育て・介護などにより**通院(を継続)**することが難しい方々への**適時・適切な医療サービス**を受けられる選択肢となりうる(住民、医師双方にメリット)。

## <病院との連携>

“いしかわネット”という県下主要31の病院が参画している**医療情報共有プラットフォーム**が成立。また、能美市内は、病院、診療所において**電子カルテを共通化**し、病病、病診、診診に加え、**介護とも医療情報を連携**する“のみリンク”を整備し、“いしかわネット”とも連携。厚生労働省が進める**医療DX**を志向している。

能美市の医療DXやコンパクトシティに向けた取り組みは、県下全域に横展開していくモデル事業  
(ただし、オンライン診療が必要か否かは、当該地域のニーズによる)。

地域を限定することなく、住民、市町村、地域の事業者等のニーズのみで、オンライン診療のための診療所が開設可能となるよう、かつ、開設する場合に都道府県が迅速な判断を行うことができるよう、規制の見直しを求める。

# (参考) 石川県の無医地区・準無医地区

奥能登2市2町  
〔輪島市・珠洲市  
穴水町・能登町〕

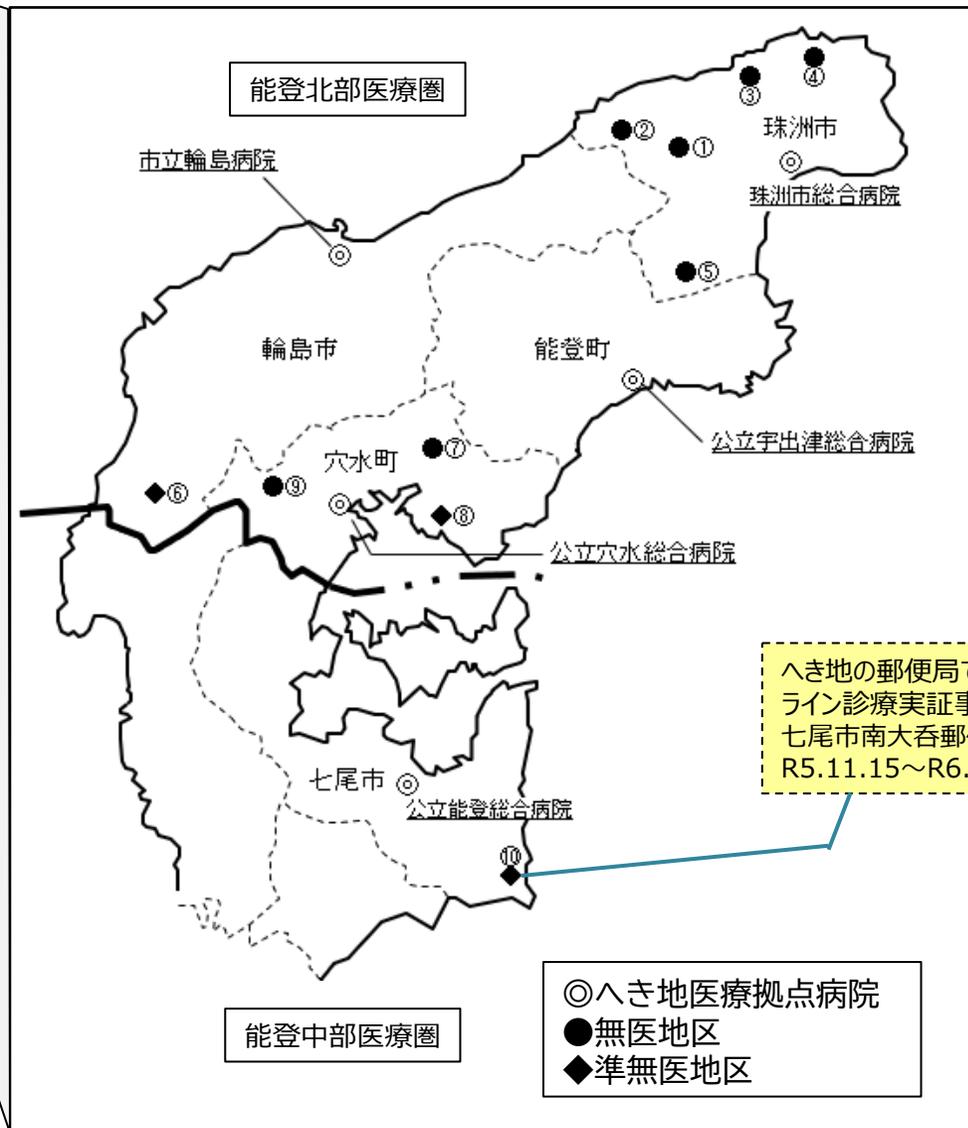


能登中部医療圏

能美市

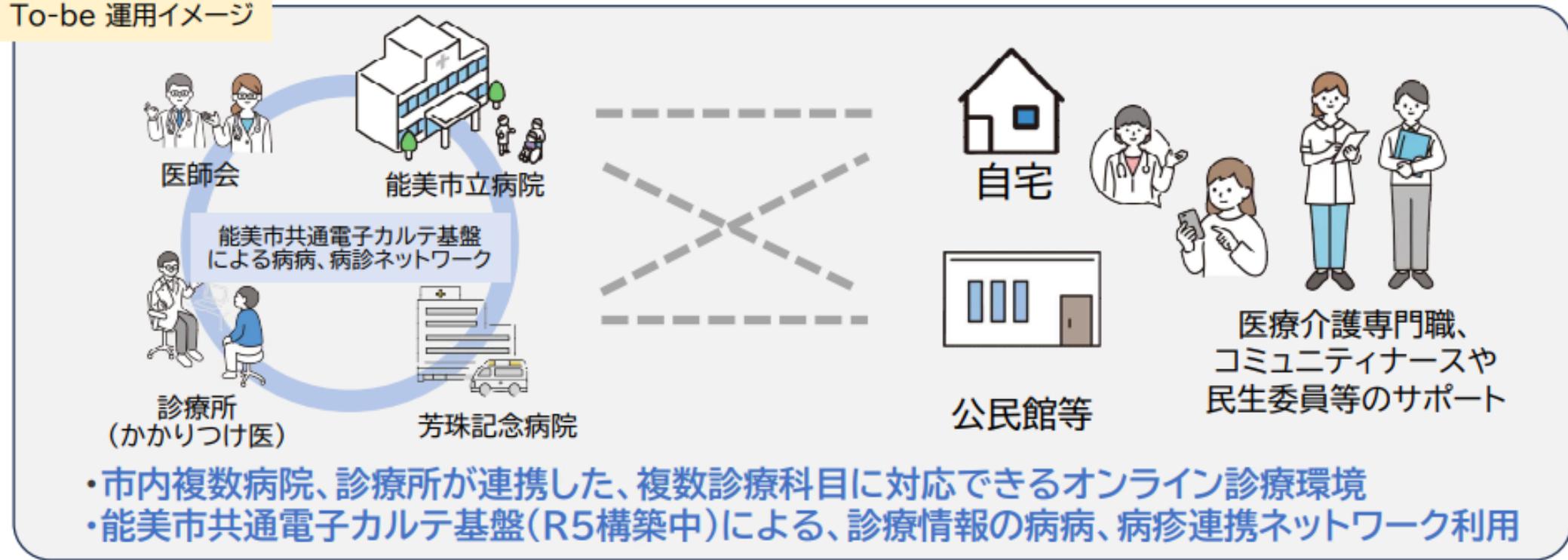
南加賀医療圏

石川中央医療圏



# 身近な施設で医療が受けられるように暮らし方の選択肢が増えることが、都会、地方、過疎問わず、全国共通の課題解決になりうる

## To-be 運用イメージ



- ・オンライン診療を行うデジタル環境
- ・サポートできる人の支援体制。
- ・病院ではない、自宅に近い診療環境
- ・人口減少に起因する、移動や医療環境の非効率への医療環境の対応。

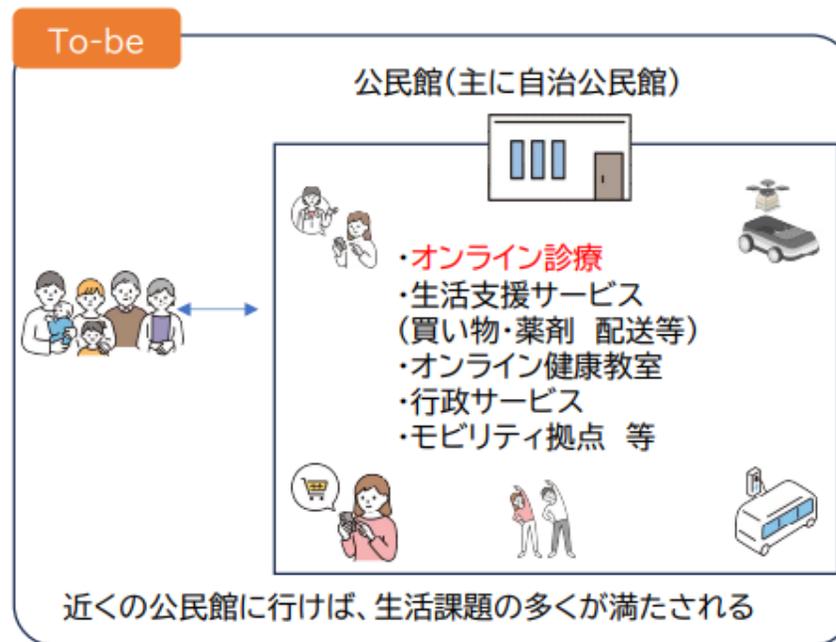
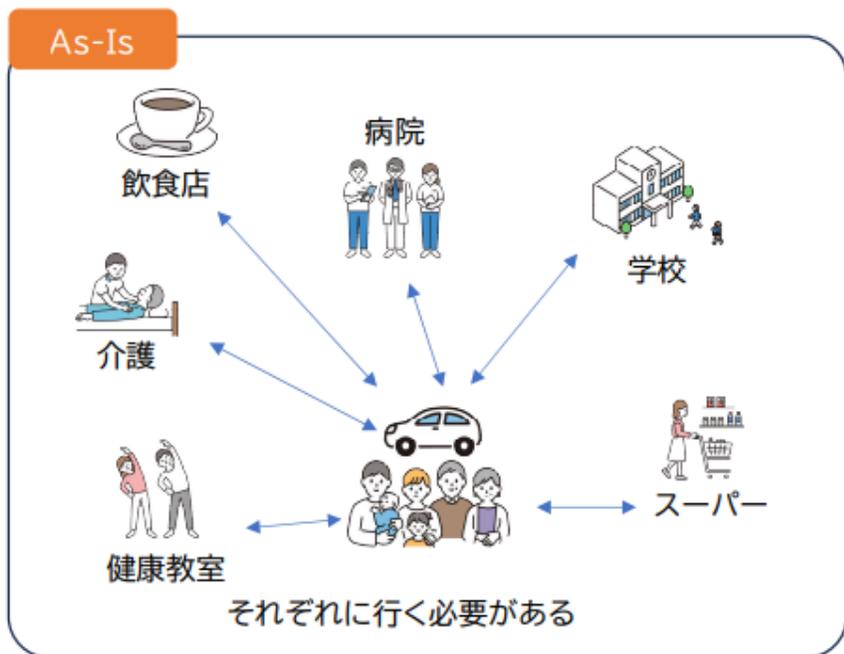
# (参考) 能美市資料

## スマートインクルーシブシティ構想で実現する未来の生活イメージ

能美市(地方の生活)は住み続けるためには「**移動(人流・物流)**」が課題  
バス等を3倍に増やすとしても、コストがかかる(足し算)



大事なのは、**生活に必要な機能が持続可能な状態で提供されること**  
①それぞれにきちんと行けるように(より良く) ②行かなくてもよいように(変える)



### 未来のすがた(未来の生活)

人流・物流を減らした(最適化された)、公民館を活かした能美市型の生活スタイル(のみモデル)

- ・公民館の機能として、オンライン診療を受診できる環境を構築したい
- ・変わるもの:時間の使い方 減るもの:移動コスト 増えるもの:コミュニケーション、生活の選択肢